

旭岡浄水場管理業務評価基準

令和 7 年 9 月
函 館 市 企 業 局

1 審査方式

旭岡浄水場等管理業務の受注者は、専門的知識や技術力が求められることから、その決定にあたっては、技術能力による評価を行ったうえで優先交渉権者を決定し契約する公募型プロポーザル方式を採用する。

この評価基準は、公募型プロポーザル方式により最適提案者を選定するために、提案書を客観的に評価する基準として示すものである。

評価は、函館市公営企業管理者企業局長（以下「管理者」という。）が設置する「旭岡浄水場管理業務に係るプロポーザル審査委員会」（以下「委員会」という。）において行うものとする。

2 公募型プロポーザル方式の手順

公募型プロポーザル方式の手順は、次のとおりとする。

(1) 参加資格要件の確認

委員会は、参加申込書および資格確認書類により、申請者が参加資格要件を満たしていることを確認する。資格不備と認めた場合は、失格とする。

(2) 最適提案者の選定

ア 提案見積金額の確認

委員会は、提案価格見積書（様式第8－2号）に記載された提案見積金額が提案限度額を超えていないことを確認する。提案見積金額が提案限度額を超えている場合は、失格とする。

イ 提案内容の基礎審査

委員会は、提案書に記載された内容について、この評価基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たされていないことが確認された場合は、失格とする。

ウ プレゼンテーション・ヒアリング

管理者は、前項アおよびイにより失格とならなかった参加資格者へプレゼンテーションおよびヒアリングの参加を要請する。

エ 提案内容の定量化審査

委員会は、提案書に記載された内容について、この評価基準に示す得点化基準に従って評価する。各評価項目を得点化し、参加者からの提案

書について順位付けを行い、得点の合計が最も高い提案書を提出した者を最適提案者として選定し、管理者へ報告する。なお、得点が同点となる提案が二以上あるときは、同点となる提案の中でさらに提案見積金額を比較し低廉なものほど優れたものとし優劣を決する。また、提案見積金額も同価である場合は、くじ引きにより優劣を決する。

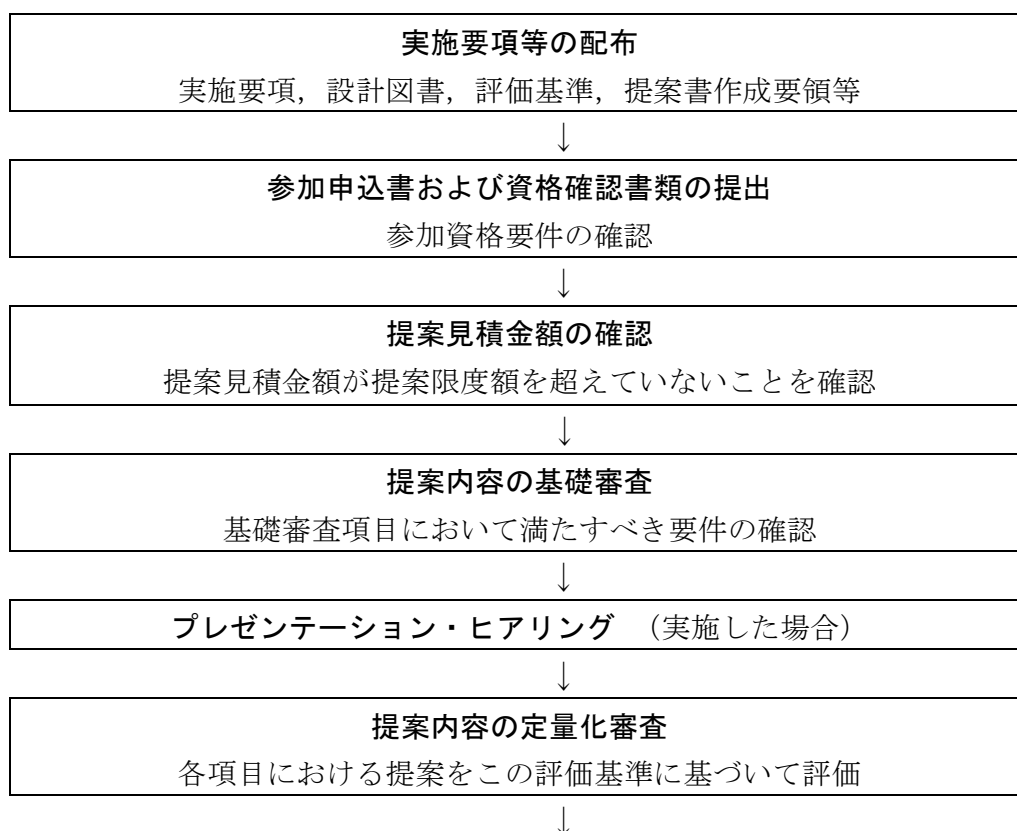
(3) 優先交渉権者の選定

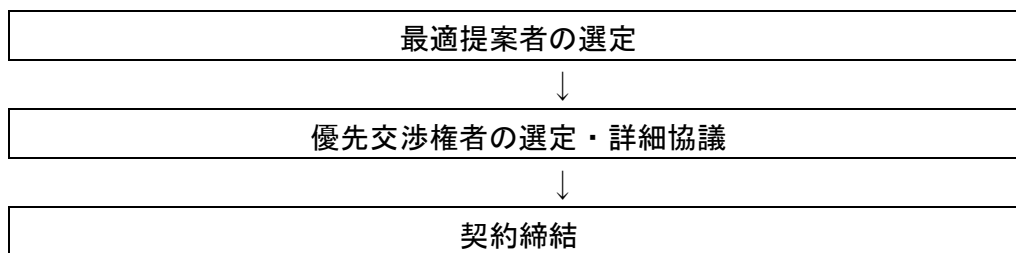
管理者は、最適提案者を優先交渉権者として選定する。

(4) 受注者の決定

管理者は、優先交渉権者と詳細協議を行い、協議が成立した場合には受注者として契約を締結する。協議が成立しなかった場合、または、契約の締結までに優先交渉権者が失格した場合は、次順位者と詳細協議を行う。なお、次順位者と協議が成立しなかった場合、または、契約の締結までに次順位者が失格した場合は、順次、次の順位者と詳細協議を行う。

3 審査等の流れ





4 資格確認の方法

(1) 確認項目

参加申込書および資格確認書類により，申請者の参加資格の有無を確認するとともに，参加資格の制限に該当しないかを確認する。

(2) 確認の流れ

参加申込書および資格確認書類により資格要件について確認し，その結果を当該者に通知する。

資格要件を満たしている場合は，併せてプロポーザル提案要請書を送付する。

5 提案見積金額の確認

(1) 確認項目

提案見積金額が提案限度額を超えていないことを確認する。

(2) 確認の流れ

提案見積金額が提案限度額を超える場合は，失格とする。

提案見積金額が提案限度額を超えていない場合は，基礎審査を行う。

6 基礎審査の方法

(1) 審査項目

提案書の内容が，次の基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書全体について，同一事項に対する２通り以上の提案，または，提案事項間の相違，矛盾等がないこと。

イ 提案書全体について，提案書作成要領に従った構成となっていること。

ウ 提案に関連する作成要領に示す項目に対する提案の内容が実施要項等と矛盾していないこと。

(2) 審査の流れ

提案書から、基礎審査項目の内容を満たしていることを確認する。

基礎審査項目が1項目でも満たされていない場合は、失格とする。

基礎審査項目が全て満たされている場合は、定量化審査を行う。

7 プレゼンテーションおよびヒアリングの実施

ア 提案見積金額の確認または提案内容の基礎審査により失格とならなかった参加資格者は、プレゼンテーションおよびヒアリングを開催する場合は参加しなければならない。

イ 実施の日時および場所は、プレゼンテーションおよびヒアリング参加要請書により通知する。

ウ プレゼンテーションの実施時間は、原則として各参加者40分程度とし、プレゼンテーション終了後にヒアリングを30分程度行う。ただし、参加者数等により実施時間の変更があるため、詳細は別途通知する。

エ プレゼンテーションおよびヒアリングへの出席者数は、最大4名とし、プレゼンテーションおよびヒアリング出席者報告書（様式9）を提案書提出時に提出すること。

オ プレゼンテーションで、パソコンやプロジェクター等の機器を使用する場合は、プロジェクター用のスクリーンを除き参加者が用意すること。

8 定量化審査の方法

(1) 定量化審査の基本方針

定量化審査による得点が最優秀提案者を選定することから、その配点および得点化基準については、管理者が本委託に期待する事項の必要性・重要性を勘案して設定する。

(2) 定量化審査の評価項目および配点

定量化審査の基本方針を踏まえ、項目別の配点は次のとおりとする。

大 項 目	中 項 目
1 業務計画に関する事項 (40 点)	1-1 業務遂行計画 10 点 1-2 業務遂行能力 10 点 1-3 リスク管理計画 10 点 1-4 モニタリング 5 点 1-5 地域貢献 5 点
2 運転管理に関する事項 (20 点)	2-1 旭岡浄水場の運転管理 15 点 2-2 給水栓毎日検査 5 点
3 保全管理に関する事項 (15 点)	3-1 旭岡浄水場の保全管理 15 点
4 企画提案に関する事項 (5 点)	5 点
5 提案見積金額 (20 点)	20 点
合 計 (100 点)	100 点

(3) 定量化審査における得点化の方法

ア 得点化の方法は、中項目ごとに 5 段階評価により得点を付与する。

評価	評価内容	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.0
B	優れている	配点×0.8
C	普通	配点×0.6
D	やや劣る	配点×0.4
E	劣る	配点×0.2

イ 提案見積金額に対する得点の付与方法は、次のとおりとする。

得点＝配点×最低提案見積金額÷当該提案見積金額

なお、得点は、小数点以下を四捨五入した値とする。

9 評価の視点

各評価項目に係る評価の視点は、次のとおりである。

1. 業務計画に関する事項

1-1 業務遂行計画

委託の趣旨や内容を理解したうえで、業務履行上の留意事項や具体性などが明確に提案されているかを評価する。

総括責任者をはじめとする従事者の配置計画、班編成、労務管理、人材育成、役割分担など、業務遂行のための体制整備に関する考え方、留意した事項、その具体性を評価する。

水量設定や薬品注入量の適正化、水源系統切り替え、維持管理等に伴う施設の運転停止等に係る企業局職員および赤川系浄水場の管理業務受注者との連絡調整に関する考え方、留意した事項、その具体性を評価する。

1-2 業務遂行能力

本市の水道に係る水源の状況、施設配置状況や施設運用状況などを十分理解したうえで、本業務に係る留意事項や具体性が提案されているかを評価する。

1-3 リスク管理計画

事故災害発生時における総括責任者の役割、従事者への指示等について、留意した事項とその具体性を評価する

リスクの想定とその対応の具体性を評価する。

1-4 モニタリング

本業務における業務の実施プロセスおよび結果の把握方法、業務改善の仕組み、業務未達が継続した場合の対応方法等について、内容とその具体性を評価する。

1-5 地域貢献

地元における従業員の雇用計画、関連業務に係る地元企業への配慮などについて、その内容に応じて評価する。

2. 運転管理に関する事項

2-1 旭岡浄水場

松倉川および汐泊川水源に係る原水水質等の特徴と対応方法、取水量等の設定と考え方、浄水プロセスに係る水質管理、薬品注入量の設

定の注意点など，留意した事項とその具体性を評価する。

2-2 給水栓毎日検査

実施体制，検査結果に個人差を生じさせないような教育および訓練の方法，業務遂行のうえでの留意事項とその具体性を評価する。

3. 保全管理に関する事項

3-1 旭岡浄水場

保安業務，浄水場等の各種点検等および関連業務に関する考え方および実施体制について，留意した事項，点検内容とその具体性を評価する。

4. 企画提案に関する事項

本業務における実現可能な提案の内容とその有益性を評価する。